

平成23年度

コンピュータサービス技能評価試験

(PCドライビング部門)

実技試験練習問題

(選択ユニット：B-4)

1. 試験時間

1ユニット 30分

2. 本練習問題の構成

- (1) 本練習問題は、本番の試験に準じた内容である。中央職業能力開発協会のホームページ（コンピュータサービス技能評価試験）に掲載されている「試験問題概要」と併せて確認すること。
- (2) 1ユニットは、課題1～課題5までの5課題で構成されており、各課題とも<仕様>に従って操作を行うものである。
- (3) 解答する課題の順序については不問とするが、1つの課題内における操作は、<仕様>で指示した順序に従って行うこと。  
ただし、一度終了したユニットは、再度やり直しはできない。
- (4) 解答方法は、次のいずれかである。
  - ① 仕様に基づく操作
  - ② 所定の表示内容の入力

## 〔課題 1〕ユーティリティによるファイルの圧縮・分割

次の<仕様>により、ユーティリティを使用して、ファイルの圧縮・分割を行いなさい。

<仕様>

1. 次のウィンドウが自動的に起動するので、確認すること。

自動的に起動するウィンドウ	
その1	試験用ファイル操作ユーティリティ
その2	メール送信したいファイルが表示されたウィンドウ

2. 上記1.において、「その2」のウィンドウに表示されているファイルを、次の条件により、メールの送付ファイルとしたい場合、「その1」のウィンドウに表示されたユーティリティを活用して、必要な圧縮・分割の操作を行うこと。  
なお、「試験用ファイル操作ユーティリティ」のウィンドウについては、左上の「解説参照」を選択することで、解説が表示されるので、必要に応じて使用すること。

メールの送付条件		
送付したいファイル （「その2」に表示されたファイル）	名前	B41P0. DATA
	容量	約9メガバイト
受取り側の制約	1回で受信可能なファイルサイズ	3メガバイト
	受信可能なメール総容量	無制限
	可能な圧縮ファイルの解凍形式	「zip形式」のみ
その他	メールの送信回数が最少となるようにしたい。	

3. 上記1.～2.で起動したウィンドウを閉じること。
4. ディスプレイ画面上に表示されている「試験課題管理」ウィンドウの「操作終了(C)」を選択すること。
5. ディスプレイ画面上に表示されている「試験課題管理」ウィンドウの「課題終了(E)」を選択し、課題を終了すること。

## 〔課題 2〕ユーティリティによる動画ファイルの形式変換

次の〈仕様〉により、ユーティリティを使用して、動画ファイルの形式の変換を行いなさい。

〈仕 様〉

1. 次のウィンドウが自動的に起動するので、確認すること。

自動的に起動するウィンドウ	
その 1	試験用ファイル操作ユーティリティ
その 2	形式変換したい動画ファイルが表示されたウィンドウ

2. 上記 1. において、「その 2」のウィンドウに表示されているファイルを、次の条件により、「その 1」のウィンドウに表示されたユーティリティを活用して、ファイル形式を変換すること。

なお、「試験用ファイル操作ユーティリティ」のウィンドウについては、左上の「解説参照」を選択することで、解説が表示されるので、必要に応じて使用すること。

ファイル形式の変換条件		
形式変換の対象ファイル （「その 2」に表示された ファイル）	名 前	B42P0. mpg
	ファイル形式	mpg 形式
	シチュエーション	デジタルビデオカメラで 撮影した動画ファイル
形式変換の内容	ファイル形式	asf 形式
	シチュエーション	ホームページ上で公開す るためのストリーミング ファイル
	その他	形式変換の回数が最少と なるようにしたい。

3. 上記 1. ～ 2. で起動したウィンドウを閉じること。
4. ディスプレイ画面上に表示されている「試験課題管理」ウィンドウの「操作終了(C)」を選択すること。
5. ディスプレイ画面上に表示されている「試験課題管理」ウィンドウの「課題終了(E)」を選択し、課題を終了すること。

### 〔課題3〕ユーティリティによる静止画ファイルの形式変換

次の〈仕様〉により、ユーティリティを使用して、静止画ファイルの形式の変換を行いなさい。

〈仕様〉

1. 次のウィンドウが自動的に起動するので、確認すること。

自動的に起動するウィンドウ	
その1	試験用ファイル操作ユーティリティ
その2	形式変換したい静止画ファイルが表示されたウィンドウ

2. 上記1.において、「その2」のウィンドウに表示されているファイルを、次の条件により、「その1」のウィンドウに表示されたユーティリティを活用して、ファイル形式を変換すること。

なお、「試験用ファイル操作ユーティリティ」のウィンドウについては、左上の「解説参照」を選択することで、解説が表示されるので、必要に応じて使用すること。

ファイル形式の変換条件		
形式変換の対象ファイル （「その2」に表示されたファイル）	名 前	B43P0. bmp
	ファイル形式	bmp 形式
	シチュエーション	デジタルカメラで撮影した静止画ファイル
形式変換の内容	ファイル形式	jpg 形式
	シチュエーション	ホームページ上で公開するための静止画ファイル
	その他	形式変換の回数が最少となるようにしたい。

3. 上記1. ～2. で起動したウィンドウを閉じること。
4. ディスプレイ画面上に表示されている「試験課題管理」ウィンドウの「操作終了(C)」を選択すること。
5. ディスプレイ画面上に表示されている「試験課題管理」ウィンドウの「課題終了(E)」を選択し、課題を終了すること。

## 〔課題4〕ユーティリティによるテキストファイルの比較

次の<仕様>により、ユーティリティを使用して、2つのテキストファイルの相違を比較し、「所定の表示内容の入力」を行いなさい。

<仕様>

1. 次のウィンドウが自動的に起動するので、確認すること。

自動的に起動するウィンドウ	
その1	試験用テキスト比較ユーティリティ
その2	相違比較する2つのテキストファイルが表示されたウィンドウ

2. 上記1.において、「その2」のウィンドウに表示されている2つのファイルに対し、「その1」のウィンドウに表示されたユーティリティを活用して、テキストデータを比較する操作を行うこと。

ただし、比較する2つのテキストファイルの内容は、次のとおりとする。

比較する2つのテキストファイルの内容	
ファイル名	テキストファイルの内容
B44P0a.txt	3日前、複数の友人にメールを送信したオリジナルのテキストファイル
B44P0b.txt	昨日、特定の友人から転送された改ざんの疑いがあるテキストファイル

3. 上記2.により、相違した「行」を確認し、ディスプレイ画面上に表示されている「試験課題管理」ウィンドウの解答ボックスへ入力すること。
4. ディスプレイ画面上に表示されている「試験課題管理」ウィンドウの「操作終了(C)」を選択すること。
5. 上記1.～2.で起動したウィンドウを閉じること。
6. ディスプレイ画面上に表示されている「試験課題管理」ウィンドウの「課題終了(E)」を選択し、課題を終了すること。

## 〔課題5〕ユーティリティによるフォルダのバックアップ

次の<仕様>により、フォルダのバックアップ操作を行いなさい。

<仕様>

1. 次のウィンドウが自動的に表示されるので、確認すること。

自動的に表示されるウィンドウ
バックアップしたいフォルダが表示されたウィンドウ

2. 上記1. のウィンドウに表示されているフォルダについて、次の条件により、バックアップフォルダを作成する操作を行うこと。

バックアップフォルダの作成条件	
バックアップの対象フォルダ	「B45P0」フォルダに含まれる全てのフォルダ・ファイル
活用するユーティリティ	Windows に付属のバックアップユーティリティ
バックアップフォルダの保存先	試験委員から指示されたドライブ (###JAVADA)
バックアップフォルダの名前	B45P0. bkf

3. 上記1. ～2. で起動したウィンドウを閉じること。
4. ディスプレイ画面上に表示されている「試験課題管理」ウィンドウの「操作終了(C)」を選択すること。
5. ディスプレイ画面上に表示されている「試験課題管理」ウィンドウの「課題終了(E)」を選択し、課題を終了すること。